

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立東陽中学校	実践者名	中野 裕介
教科	英語	学年	第1学年
活用内容	発表原稿作成 発表練習 発表、振り返り	実践日	令和3年10月28日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	Lesson 3 Project1 理想のロボットを発表しよう 『New Crown 1』		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

【概要】

「～できる」や既習の表現を用いて理想のロボットについて発表を行う。発表準備としてロイロノートを活用して練習と改善を図る。

【ロイロノートの使用目的】

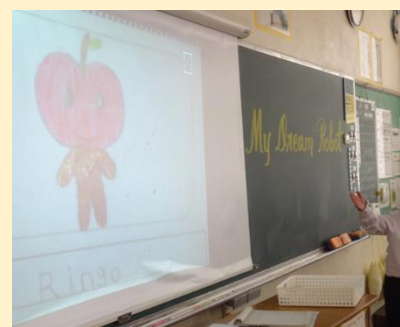
- ・発音の確認
- ・話す速さの確認
- ・声の大きさの確認
- ・姿勢・態度・表情の確認
- ・練習→改善のサポート

【発表までの流れ】

- (1) 評価基準（ルーブリック）をもとに、理想とするロボットの形やできることを考えて発表原稿を作成する。
- (2) ロイロノートを活用して発表練習を行う。カメラ機能を使って、自分の発表姿を録画・確認する。録画したものは提出箱へドロップし、後日、教科担からクラス全体へ改善点を提案する。
- (3) 発表、他生徒の評価、振り返りを行う。



ロイロノートで録画・確認をしている様子



発表場面

実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
<p>アプリの操作性もよく、スムーズに取り掛かることができた。何度も動画を見て改善に取り組むことで、限られた時間の中で効率的な活動ができた。タブレットを使用すると机に教科書を広げたりできないため、活動時間にめりはりのある授業を心掛けていきたい。</p>	<p>(生徒より) 「話した英語を自分で聞いてみると、思っていた発音と違っていた。もっと上手に発音していきたい。」「録画は最初は恥ずかしかったけど、慣れてきた。」「ジェスチャーを使っていた人がいてすごかった。」「英語は苦手だけど、頑張ってみんなの前で発表できた。」</p>